

ピックアップ実習生+α



受入れ企業 プロフィール

株式会社JR東日本環境アクセス



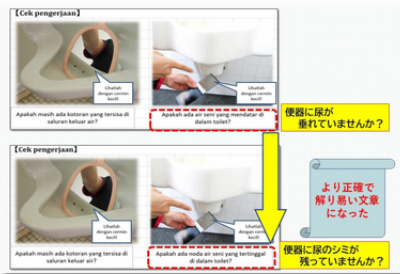
JR東日本グループの一員として駅・列車・ビル・ホテルなどの清掃、設備管理、警備保安、廃棄物収集・リサイクル事業を展開し、快適で安全な環境づくりに貢献している。インドネシア技能実習生の受入を行っている。



株式会社JR東日本環境アクセスでは、インドネシアの実習生が一日も早く現場に慣れ、活躍してもらおうと、さまざまな取り組みが行われています。

東京事業所では実習生のプロフィールと顔写真を掲示し、プロフィールに記載された話題を通した**自然なコミュニケーション**が生まれるような取り組みを行いました。2年目からは本人の名前の漢字表記を事業所がサポートしながら考え、掲示されるようになりました。人数が多い中でも、すぐに名前を覚えられ、現場になじむことができました。

池袋事業所ではOJT教育で工夫した取り組みが行われました。過去に海外からのパート社員へのOJT教育で言語の壁に直面した経験がありました。それを踏まえ、実習生の受け入れに際して、既存のマニュアルをより事業所の作業内容に即した内容へブラッシュアップを図りつつ、インドネシア語への翻訳に取り組むことにしました。



ブラッシュアップに際しては日本人社員が自分達の作業について振り返り、注意点やワンポイントアドバイスを盛り込みました。また、翻訳作業では、同社のインドネシア人社員が翻訳を手伝い、その後**実習生自身が添削を行う「当事者参画型」のプロセス**を採用しました。資機材名や洗剤名の直訳では理解がしづらく、「伝える」ことを重視した意識とといった工夫を重ねることで、「理解しやすい」教育資料が完成しました。

この取り組みによって日本での清掃業務の経験がない実習生でも理解しやすい教育資料が整備され、習熟度を高めることができました。

また、各現場での教育をベースに本社での集合研修も適宜行われていて、会社の培ってきた清掃ノウハウが実習生に継承されています。その成果として、基礎級の技能検定に無事全員合格することができ、技能実習2号へのステップアップを図ることが出来ました。

その他にも会社として、スキー研修などのレクを企画実施し、公私共に実習生と距離を縮める取り組みがなされています。

実習生が交流しやすい現場づくりと
「当事者参画型」の教育